

2022年3月29日
JICA ブラジル事務所

西国幸四郎医師に対する JICA 拠点長表彰について

JICA ブラジル事務所は3月29日にブラジル事務所において、サンタクルス日本病院第一副理事長の西国幸四郎医師に対して JICA 拠点長表彰を授与しました。

西国医師は2005年から現在までブラジル事務所の顧問医として数多くの JICA 関係者に対して助言や支援を行っており、その顕著な功績に対しブラジル事務所の江口雅之所長から表彰を行いました。

表彰式にはサンタクルス日本病院評議会議長及びブラジル日本文化福祉協会（文協）会長の石川レナト氏、サンタクルス日本病院理事長の佐藤マリオ氏、そして西国医師ご子息の西国亜門さんも同席されました。

江口所長は「1970年から2020年の過去50年間で海外での国際協力の活動中に亡くなった JICA 関係者は約250名に上り、その死亡原因の半数が病気によるもの。JICA 職員が海外で任務を全うする上で、健康管理は大きな関心・課題であり、日本語で相談でき丁寧かつ迅速に対応して頂いている西国医師の存在はとても大きい。これまでの支援に対し感謝の意を表しその功績を顕彰するとともに、これから JICA ボランティアも数多く戻ってくるため、引き続きのご支援を賜りたい」と述べた。

西国医師は、「日本からブラジルに移民として来た両親を通じて、ブラジルのことが十分に分からない人達への支援は大切だと感じていたので、今回このような表彰をいただき、今までやってきた甲斐があったと思うと同時に、両親に対しても少しは親孝行ができたのではないかとの気持ちがある。また石川評議会議長や佐藤理事長をはじめサンタクルス日本病院の医師や看護師など様々なスタッフの皆さんの支援があってこそ現地顧問医としての対応ができていることから、関係者の皆さんに対して感謝したい」と述べられました。

西国医師は、専門である脳神経外科領域のみならず、小児科、産科、内科、整形外科等においても高い臨床識見を有し、2021年からサンタクルス日本病院の第一副理事長、同病院傘下のサンタクルス日本病院学術研究所（IPESC）理事長を務め、本邦大学との学術研究交流にも積極的に取り組んでいます。

以上